

「同じ地域に学ぶ子どもたちの教育のために
小・中・地域の連携を深めよう」

I 主題設定の理由

- 同じ地域に学ぶ子どもたちを教育する立場で、地域が抱える教育課題を共有し、その解決に向けた交流を行う。
- 地域との連携を強化し、「地域の子どもは、地域で教育する」という視点で地域の教育力の向上を図る。
- 小学校・中学校の連携を強化し、小・中の系統的な教育のあり方を研究する。

II 研究の内容

1 第1回ブロック交流研究会（夏季学習会）

- (1) 日時 8月4日（金） 13：30～16：00
- (2) 場所 井尻小学校 4年教室
- (3) 目的
 - ・3校の共通の教育課題について、講師を招いて対応について学び、児童生徒の健全な育成を図る。
 - ・松里中学校区の児童・生徒や地域の様子について情報を交換し、今後の学習指導や生活指導に役立てる。
- (4) 内容 【学習会・情報交換会】
 - 指定を受けている青少年赤十字活動についての学習を深めるために、日本赤十字社山梨県支部の佐野寿満子先生をお招きして、講演を聞く。
 - 児童生徒の状況把握や地域（松里中学校区）についての情報交換を行う。

2 第2回ブロック交流研究会（松里中学校授業公開の参観）

- (1) 日時 11月22日（水） 13：50～16：15
- (2) 場所 松里中学校各教室
- (3) 目的
 - ・松里中学校区の小学校教職員が、中学校の授業の様子を参観し、児童の様子を把握する。
 - ・各校の学習や生活の様子を情報交換することで、地域の教育的課題を明らかにし、小中連携して児童生徒の健全な育成を図る。
- (4) 内容 【授業参観】
【全体会】

- 各校の校内研究の概要について（各校研究主任より）
- 本日の授業についての質疑応答や、児童生徒の様子と情報交換

3 第3回ブロック交流研究会（小中連携に関する学習会）

- (1) 日時 1月17日（水） 15:00～16:40
- (2) 場所 神金小学校，大藤小学校パソコン室
- (3) 目的 ・松里中学校区の現職の教員による小中連携の実践から3校の共通の課題について学びながら，今後の指導に役立てる。
- (4) 内容 【全体会】
 - 「ネットワークで結んだエデュタブの使い方について」
 - 講師 田邊康仁先生

Ⅲ 成果と課題

1 成果

- 小中連携の大切さは教育課題や子ども達の実態から見ても実感している。3回のブロック交流研究会の内容（学習会，児童生徒の情報交換，松里中学校の授業参観）が工夫されていたので，充実した研究内容であった。
- 日本赤十字社の佐野先生をお招きしての学習会は，赤十字活動と学校教育との関わりについて学ぶことができ，理解を深め合うことができたので大変良かった。
- 松里中の授業公開では，主体的・意欲的に学ぶ生徒の姿が見られ，とても良かった。授業後の研究会でも中学校の具体的な取り組みが分かり，小学校でも生かせそうな内容を知ることができた。
- 生涯学習課の田邊康仁先生をお招きしての学習会では，テレビ会議システムやネットワークで結んだエデュタブの使い方について学ぶことができた。神金小と大藤小のパソコン室をお借りし，実際に触れて，学べたことはとても有意義であった。松里中学校区に活用する道筋なども分かり，イメージを持つことができた。

2 課題

- ▲ブロック交流をするに当たっては，打ち合わせ時間を確保することも課題である。できるだけ時間を短縮するために，今後は教えていただいたテレビ会議システムを通じて打ち合わせをしていくと，時間的にもよいのではないか。
- ▲すばらしい文化財や地域資源があるので，臨地研修などで地域に目を向けるようなことがあっても良いのではないかと思う。
- ▲来年度は赤十字の公開もあるので，3校で共通した児童，生徒会の活動や今後の見通しなどの確認もできたら良かった。

（ブロック長 遠藤 香織）